

【改めて“ヒト”と“組織”を考えるシリーズ18】

建設的な人と問題児：そこに至る分かれ道

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【なぜか不平不満が出てしまう？】

組織内では、そんなに“恵まれていない”わけでもないのに、すぐに不平不満を言う人がいます。もちろん“程度”は様々ですが、度を超すと、それがしばしば組織内トラブルに発展することもないとは言えません。

しかし、なぜ、そんなに不平不満を言うのでしょうか。

【“してもらう”のが当たり前だと感じると…】

もちろん実際に“問題”があり、それを伝えるために指摘をしているケースもあります。

ところが、自分は“してもらう”のが当たり前と感じてしまう未熟さを克服できないと、私たちは“もっとしてもらいたい”という思いに陥り、それが不平不満につながることもあるのです。

【組織の新陳代謝が良かった頃は…】

しかも“もらう人＝新人”、“与える人＝ベテラン”という“分かりやすい組織構造”が、高齢化の中で崩れる傾向にある昨今、つい“もらう人”側の気分浸って、会社に文句を言いたくなる人が増えているかも知れません。しかし、そんな“気分”にどう対処すれば良いのでしょうか。

【ある経営者の方の体験】

ふとしたことから、顧客にも従業員にも“与える人”と“もらう人”が、まるで対極のように存在すると気付かれた経営者の方がおられます。

顧客にも、片や“子供じみた”クレームを発する人がおり、もう一方では、会社に協力的な“大人”が存在します。従業員にも、要求ばかりする人と、建設的に事業に参画する人がいるのです。

その経営者は、そんな“現実”を観察しました。

【両極を生み出す要因】

そして『なぜ、そんな差が生まれるのかが分かってきた気がする』と言われるのです。

もちろん、人の内面を変えることは難しいでしょうが、“与える”姿勢と“もらう”姿勢の差を生み出す要因が分かれば、組織マネジメント上の“対応方向”も、見えやすくなるかも知れません。

【レポートを定期購読しませんか？】

そこで、その経営者の方の“体験”を、要点を明確にしながらまとめたマネジメント・レポートをご用意しました。

定期購読(有料)希望者にはレポートを毎月お送りしますので、ご遠慮なくご一報ください。



組織の中には、どうしても“してもらうのが当たり前”と感じている人がいます。そんな人は、周囲に負担を掛け、周囲の努力を我がものとしながら、それでもなおかつ不平不満を口にしているかも知れません。

なぜそうなるのでしょうか。そして、そんな人材とは、どう向き合うべきなのでしょう。今、そんな“微妙な部分”に、スポットを当てるべき時なのかも知れません。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！